

令和5年度 吾妻圏域退院調整ルール利用状況アンケート【集計結果】

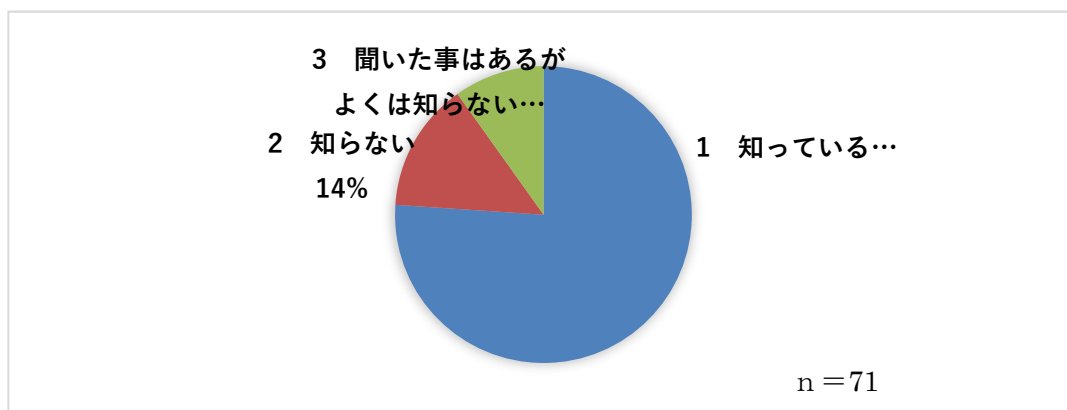
○調査概要

- ・ 調査対象 次の対象機関において退院調整ルールを使用する専門職等全員
- ・ 対象機関 吾妻郡内の有床医療機関・地域包括支援センター
居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護
- ・ 回収結果 71人（内訳：有床医療機関16人・地域包括支援センター11人
居宅介護支援事業所43人・小規模多機能型居宅介護1人）
- ・ 調査期間 令和5年11月13日～30日

○調査結果概要

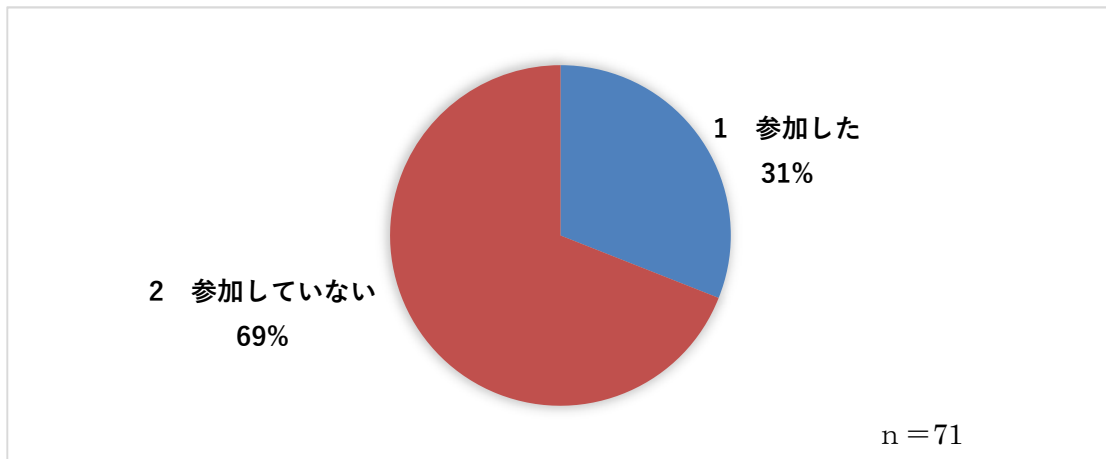
【設問1】 吾妻圏域退院調整ルールを知っていますか。

- 1 知っている（54人） 2 知らない（10人） 3 聞いた事はあるがよくは知らない（7人）



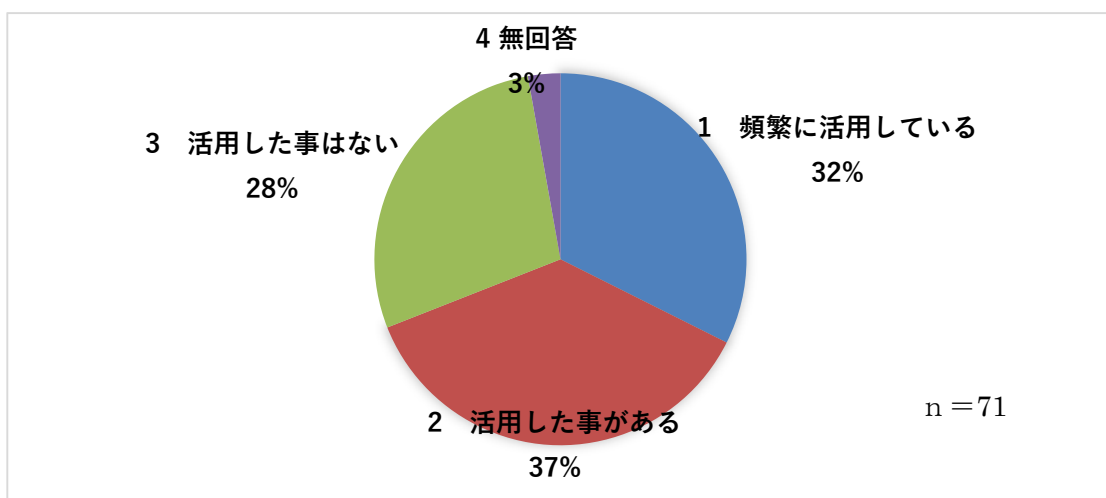
【設問 2】平成 30 年度第 1 回医療介護連携調整実証事業「メンテナンス会議」に参加しましたか。
(※平成 31 年 2 月 18 日 長野原町役場住民総合センター大ホールにて開催の会議)

- 1 参加した (22 人) 2 参加していない (49 人)



【設問 3】「吾妻圏域退院調整ルールの手引き Vol.2」で示している「入院時情報提供」を活用していますか。又は、活用した事がありますか。

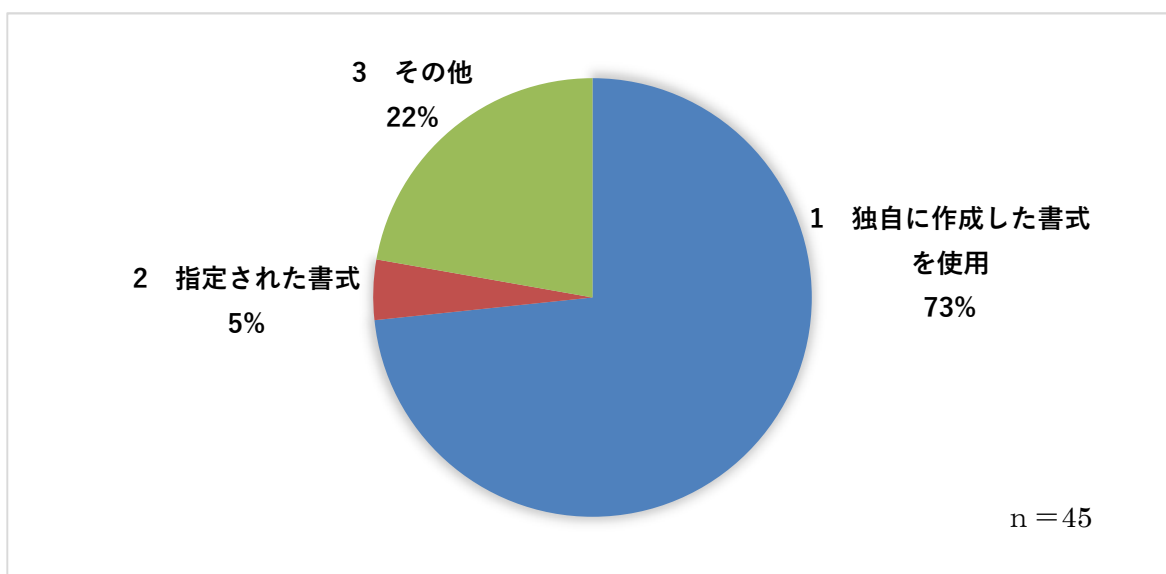
- 1 頻繁に活用している (23 人) 2 活用した事がある (26 人)
3 活用した事はない (20 人) 4 無回答 (2 人)



【設問 4】 ※【設問 3】で 2・3 と回答した方に伺います。

情報提供の方法として、どのような書式を使用する事が多いですか。

- 1 事業所・医療機関で独自に作成した書式を使用（33 人）
- 2 提出する相手方に指定された書式（2 人）
- 3 その他（10 人）



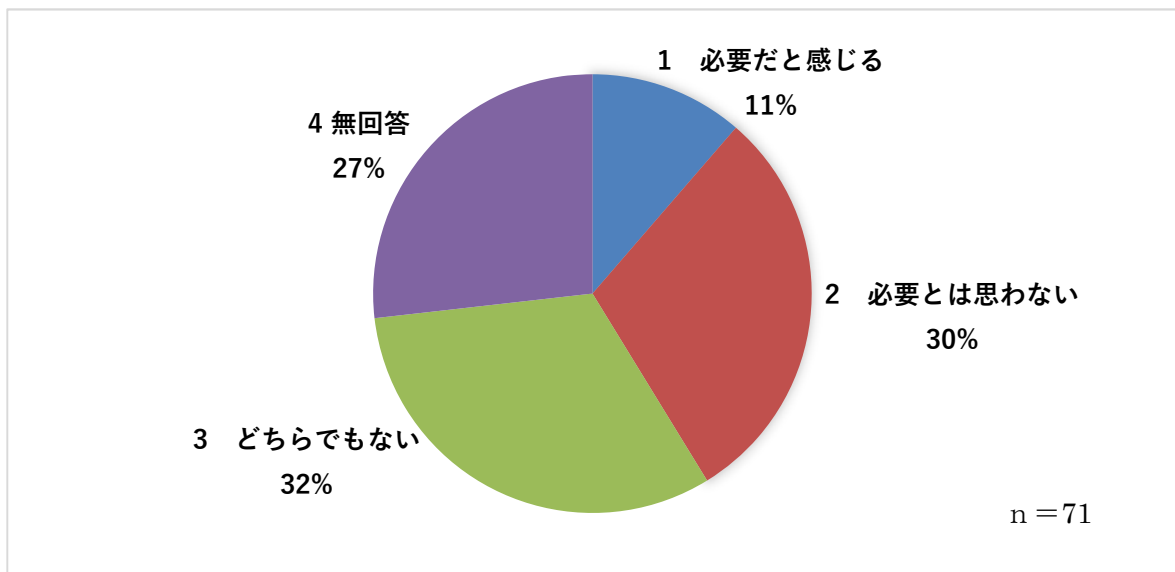
【設問 4】 3 その他（ ）の回答について

- ・ 全国の書式
- ・ 吾妻圏域退院調整の手引きにある書式を使用
- ・ その都度で違います。半々位。

【設問 5】 ※全員の方に伺います。

居宅⇄医療機関等のやり取りの際、現在使用している「吾妻圏域退院調整ルール」も含め、吾妻郡独自の書式や項目が必要だと感じますか。

- 1 必要だと感じる (11人) 2 必要とは思わない (29人)
3 どちらでもない (31人)



※そのように感じる理由、又は、その他ご意見等をご記入ください。

- ・入退院時の連携の際、病院によって必要項目が違うため求められる要項について返答等を行っている現状である。ケアマネとして感じることは統一された調整ルールには無理があり業務がマスだけと感じている。
 - ・退院調整ルールの明確な理解をしていないため必要性がわからない
 - ・吾妻郡において、退院調整ルールを策定したそのプロセスが非常に有意義だったと感じています。そのあと国から示された書式を参考にして、当事業所では独自書式を作成。それを主に使用しています。
- 意識的な素早い連携と、お互いの立場を理解した柔軟な対応ができていれば、書式自体はどのような形でも問題とならないというのが、現時点での結論です。
- ・介護報酬の算定上の要件が満たされていればよいと思います。
 - ・条件を満たしていればどちらでもよいと思います。
 - ・病院も少なく、県外や遠隔地の病院を利用する人も多く、吾妻独自でなくても使える物があれば、それでも良いと思います。

- ・吾妻郡以外の入院先に、情報を提供する事が多く、その際病院から指定された様式に記入するので、必要と思わない。
- ・事例がないので、どちらでもないです。
- ・医療機関が少ない為、圏域外の病院とやり取りする事も多い。様々な圏域の病院とやり取りするのであれば、むしろ、もっとシンプルな情報のみ共通様式であれば十分だと思います。
- ・全国の書式があるので
- ・実地指導でも、全国の書式を使用していれば、特に指摘がないかと思い使用している。
- ・事業所の書式での提供を行っており、医療機関からも独自の書式で提供いただいている。その際に困った事や不足になった事は電話でのやり取りで間に合っているため。
- ・必要な項目が含まれた、もう少し簡略なものがあればありがたいと思う。
- ・吾妻郡独自の書式もいいと思うのですが、吾妻郡以外の病院に入院をすることもあるので、ある程度統一してもらったほうがいいと思う。
- ・必要なことは備考として伝えている。
- ・文字が小さく読みにくいと、病院等で活用しにくさもあるのではと思われます
- ・文字が小さく読みづらい。
- ・吾妻郡の人も吾妻郡内の病院に入院するだけでなく、渋川市、前橋市、高崎市など、入院する病院はさまざまです。多く使われている様式の方が良いと思う。
- ・独自のものを作るのも大変なので、現書式でよいと思うが、やはり文字が小さく読みづらい。内容はよいと思う。入院時連携書類は活用しているが、退院退所の書類は、病院内でもっと活用してほしい。現在は看護サマリーのみで、リハビリや薬剤、食事面などの指導助言が聞かないと分からない状態である。活用できないのは何故か？検討してほしい。
- ・用紙の記入欄が小さく、文字も小さいため、FAX では余計に見づらくなる。その点を改善できると、きちんと情報伝達できると思う。
- ・文字が小さく、FAX だとつぶれてしまう。特記事項の欄がやや小さく感じる。
- ・包括で関わる支援 1・2 の方だと基本情報レベルの提出で間にあう。退院時に医療機関からの情報提供も来ない。
- ・厚労省から示されている標準様式を活用していく。
- ・各病院と調整方法がある程度確立されている
- ・吾妻ルール導入後はしばらく使用していたが、事業所が扱っている介護ソフトにも「入院時情報提供書」等の様式が入っており基本的な内容はデータに取り込むことが出来ることから現在はメインで活用している。実際に支障なく連携出来ており、吾妻独自の書式や項目で作成する必要性を感じていない。
- ・情報提供がスムーズにでき、生活歴・趣味なども書き込め助かっています。

- ・せっかく時間をかけて独自のものを作ったので、それをこのまま利用してもよいし、統一された書式や項目があれば、それでも良い。特にこだわらない。
 - ・同一書式の活用により、介護保険サービス上の共通認識、ケアマネジメント実践に活用を図りたい。
 - ・入院情報提供書に正式な受理署名欄を入れてもらおうと助かります。情報提供する際にSWにたびたびお願いしていますが、情報提供→受理署名返信を基本にして頂けるとありがたいです。
 - ・担当者会議をするとき、病院からの情報提供は参考になるから必要と思う。情報の共有をしてほしい。
 - ・病院の窓口がその都度わからない（MSW、病棟ナース等）こちらから入院情報提供しても退院時連絡が統一にない。
 - ・どのように利用しているのか分からないので、どこまで細かい情報が必要なのかわからない。
 - ・①退院時情報が退院後調整できているか。ケアマネを通じて連携するために必要と思われる。②高齢の独居生活が多くなり、認知症もすすみ、家で悪化し入院をくり返す人が多くなってきています。地域性もあり吾妻郡独自のルールづくりは必要と思われる。
 - ・療養病院入院時に居宅ケアマネジャーから提供される情報は基本情報やプライマリケアにより大凡の必要情報が把握できるため、「必ず統一した書式で無ければならない」という必要性は感じていないが、急性期や緊急を要する場面では情報理解を早める為にも統一書式が必要な場面もあるように思う。ケースによるが、連携パスの様な運用であれば有効な場面は多いのではないのでしょうか。
 - ・ケースバイケースな方がほとんどですので、チェック以外に必ず連絡事項を記入するやり方は、変わらないのではないかと思います。
 - ・郡内統一書式で、病院でも電子カルテに入れられるということであれば、よいが、費用もかかるので、必要と感じても、今のままで当院書式でとってしまうのが現状です。
 - ・「退院・退所情報記録書」は、しっかりと情報が1枚に記載することができ、様式としては良いと思うのですが、そのぶん記載をする職員の負担が大きいため、活用しづらいかと思えます。NSサマリー・リハサマリーを個々で出す方が効率的であるため、現状の「退院・退所情報記録書」は活用しないと思えます。
-
- ・今ある物を活用しきれていない状況で、吾妻郡独自の書式や項目を作っても仕方がないと思えます。
 - ・吾妻郡内の病院以外、県内全域の病院からの紹介も多いので、県で統一になる方が良いと感じる。
 - ・書式や項目を決めても、継続しなければ意味がありません。各々が負担を感じない様な

情報提供の在り方が必要だと思います。

- ・大切なのはお互いに必要な情報が抜けやもれがなく提供されることだと思います。独自の書式を使うことで、情報の抜けやもれがなく、円滑に連携が図れるなら、決まった書式が良いと思いますが、現状では各々の書式で良いので、適切に情報提供することを徹底する方が肝要と考えます。